

体育科学学位プログラム 身体教育・健康教育コース（博士後期課程）												
養成する人材像	体育スポーツに関連する普遍的並びに現代的問題の解決を目指し、幅広い学識と高度な専門的知識を有し、自立した教育者・研究者として高度の学術研究により国際社会に貢献できる人材を養成する。特に、身体教育学および健康教育に関する研究を自立的に遂行し、教育現場における課題を科学的かつ実践的に解明・解決できる研究者を養成する。											
教育研究の特徴	あらゆる分野で証拠に基づく実践が求められています。このことは、身体教育・健康教育分野においても例外ではありません。本コースでは、身体教育学、体育科教育学、健康教育学、保健科教育学、教育生理学、学校保健学、公衆衛生学、養護教諭学、インクルーシブ体育、教師教育学、教育心理学、学校制度学等といった研究領域をカバーし、その基礎から応用までを幅広くかつ高度に学究できるカリキュラムを用意しています。また、これらの学びを通して、ときには保育・教育現場との連絡や調整等も図りながら、身体教育・健康教育分野における研究を企画、実施し、得られたデータを科学的な手続きに基づいて分析、公表する能力の習得を目指します。											
修了後の進路	大学教員/中学校・高等学校教諭（保健体育）/養護教諭/専門学校教諭など											
年次・学期 科目区分	1年次			2年次			3年次					
	前学期		後学期	前学期		後学期	前学期		後学期			
大学院共通科目	身体総合学術特論	2										
研究群共通科目	研究報告演習	2										
	英語論文ライティング	(通年)	英語論文ライティング	2								
専修科目	身体教育・健康教育学特論演習	2										
研究指導科目	体育科学研究Ⅰ	(通年)	体育科学研究Ⅰ	2	体育科学研究Ⅱ	(通年)	体育科学研究Ⅱ	2	体育科学研究Ⅲ	(通年)	体育科学研究Ⅲ	2
履修方法	次の履修方法により、12単位以上を修得すること。 (1) 大学院共通科目: 2単位 (2) 共通科目: 2単位 ※「研究報告演習」は必修 (3) 専修科目: コーチング科学学位プログラムの科目から2単位 (4) 研究指導科目: コーチング科学研究Ⅰ～Ⅲの6単位 ※研究指導教員が担当する科目を選択する。											
修了要件	3年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。											
その他の学修・研究	学会発表		論文投稿 学会発表		論文投稿 学会発表		論文投稿 中間発表会 学会発表		学会発表		博士論文作成 博士論文審査 最終試験 最終発表会	